



# 「夢実現」～可能性は無限～

大矢野中  
学校だより

令和7年度 第19号 令和7年11月4日(火) 文責 校長 松田 真也

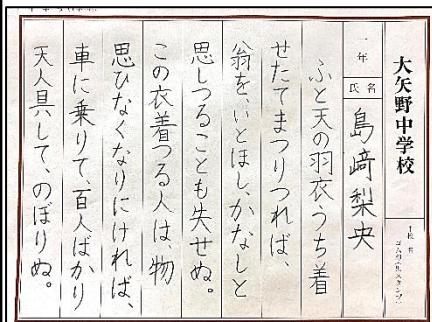
天草郡市の全小中学校で、描画、硬筆・毛筆などの作品作りに取り組みます。(今年は本校でも全員の作品を体育館などに展示しました。)その中から優秀作品が「天草都市小中学生文化展」に出品され、特選作品が選ばれました。そして、特別支援学級の児童生徒の作品とともに、この三連休に天草教育会館に展示されました。大矢野中学校からも、たくさん特選に選ばれました。

10/31～11/3 「天草都市文化展」(特集) 大中の秀作を紹介します。

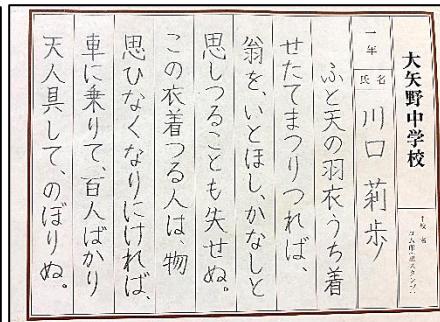
書道は、中学1年が硬筆、中学2、3年が毛筆です。

硬筆も毛筆も、中心線や、余白と文字のバランスも良く、堂々と迫力ある字が書かれています。学校名や名前までとても丁寧です。

## 毛 硬 筆



1年 島崎 梨央 さん

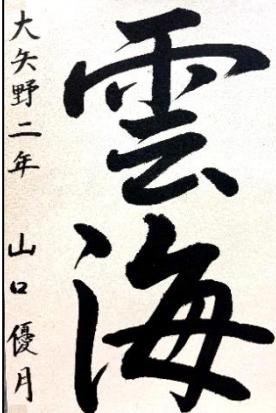


1年 川口 莉歩 さん

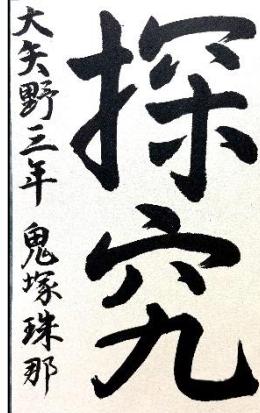
大矢野 二年 須頭 夏萌 さん



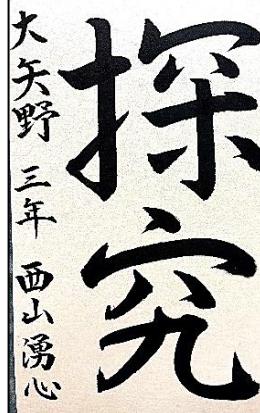
2年 須頭 夏萌 さん



2年 山口 優月 さん



3年 鬼塚 珠那 さん



3年 西山 湧心 さん

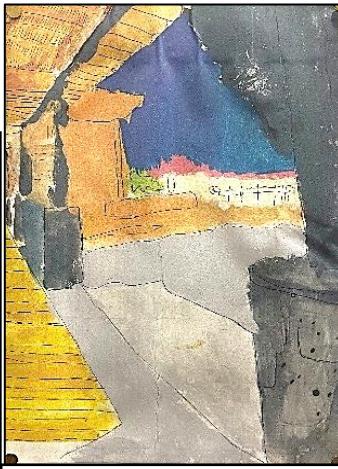
大矢野 三年 山川 更紗 さん



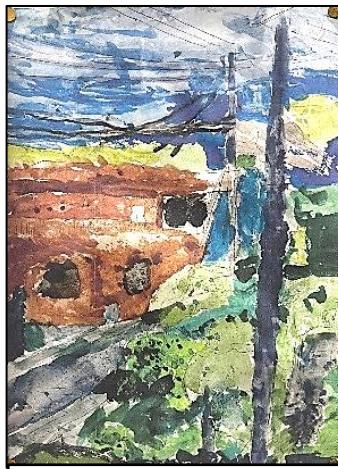
3年 山川 更紗 さん

## ひまわり1組

特別支援学級に在籍している生徒の作品もたくさん展示されました。描画や毛筆だけでなく、木工作品や陶器、そして、共同作品など、幅広い種類の力作がならんでいました。



1年 石本 悠真 さん  
「星休みに通っていた道」



1年 坂田 凜音 さん  
「毎日通る道」

←ひまわり1組の二人の作品は、どちらも「道」をテーマにした作品です。遠近法を使い、色使いも工夫して、丁寧に塗り上げました。来年は、どんな作品に挑戦してくれるのか、楽しみです。

## 描画

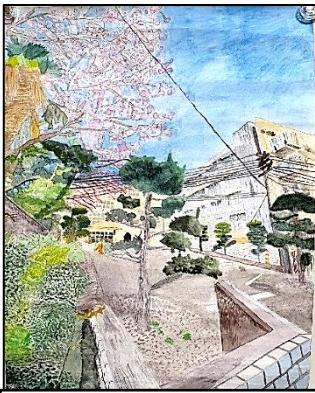
描画は、学校や登下校中の見慣れた風景を題材にしています。印象的な構図を工夫し、遠近や陰影、色の濃淡などの技法を使い、上手く表現しています。



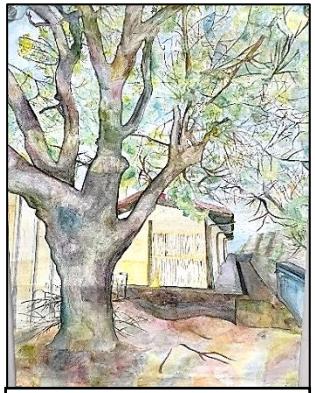
1年 松山みちるさん  
「外から見える校舎」



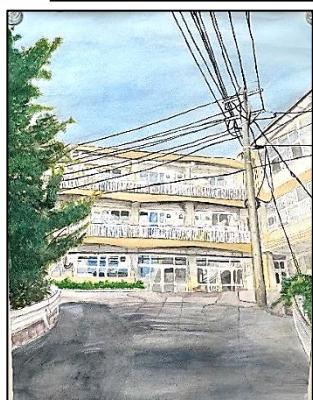
1年 切通 晴翔さん  
「静かな学校」



1年 山崎 笑花さん  
「いつもの景色」



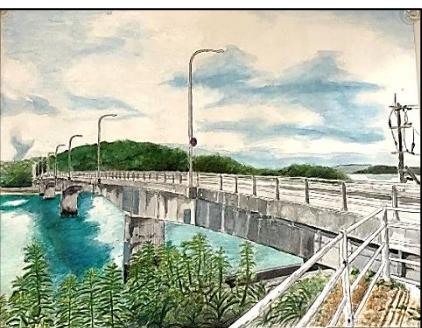
1年 渡邊 百華さん  
「大きな木」



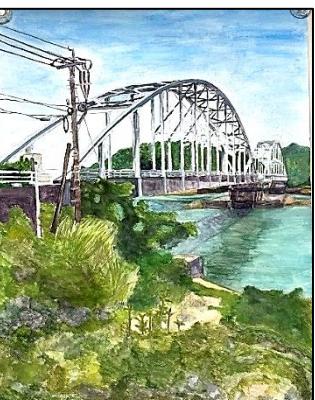
2年 木嶋 ちえさん  
「夏の校舎」



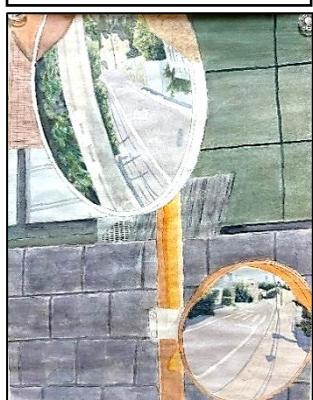
2年 吉開 心咲さん  
「思い出」



2年 楠本 志穂実さん  
「支える橋」



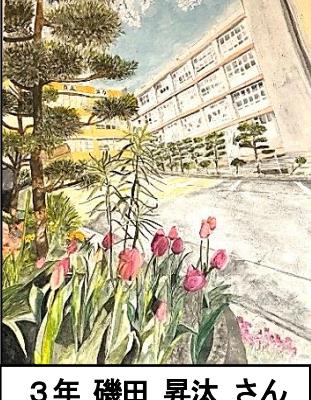
2年 小林 色葉さん  
「毎日通る通学路」



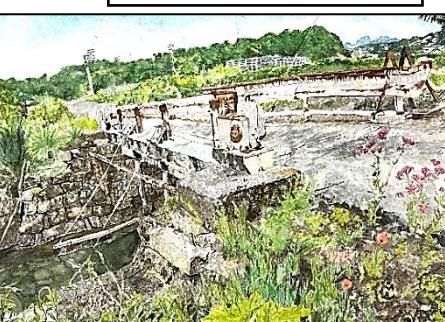
2年 種物谷 妃さん  
「歪む世界と通学路」



2年 濱田 羽子さん  
「思い出の天満宮」



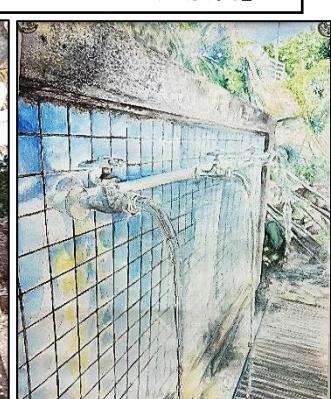
3年 磯田 昇汰さん  
「春の学校」



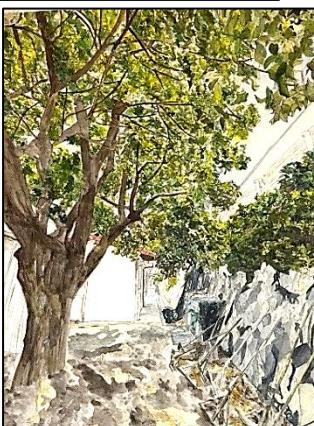
3年 鬼塚 珠那さん  
「水門と古びた場所」



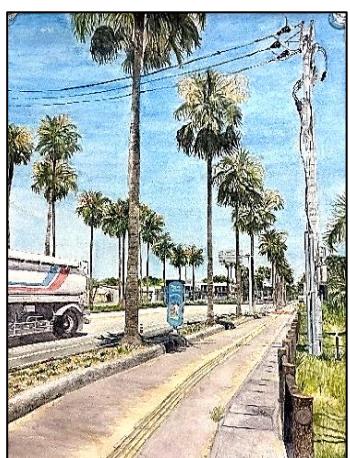
3年 池田 奈那さん  
「友達との思い出の神社」



3年 坂本 葵さん  
「夏の涼しいひととき」



3年 嶋崎 亜美さん  
「みんなの秘密基地」



3年 嶋崎 亜依さん  
「青空と木」